

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年2月19日（木）開会 14:30 閉会 16:20		
開催場所		つくば市立谷田部東中学校 LL教室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	樋口 直宏（会長）、竹内 崇（副会長） 木村 敦至、内野 隆之、高野 和直、宮本 剛、鈴木 宏之 清水 森人、加藤 千里、萩原 路子、東郷 和男 谷田部東中学校：校長 井橋 憲一 教頭 酒井 洋一、浦和 真弓 教務主任 栗本 英理香 小野川小学校：校長 岡田 浩、教頭 芳賀 千重 教務主任 木村 寛紀 二の宮小学校：校長 神林 ふじ子、教頭 宮田 路子 教務主任 片山 大輝 東小学校：校長 岡野 正人、教頭 坂入 敏江 教務主任 河野 隆行		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課参事 山口 健次 生涯学習推進課社会教育指導員 福田 綾子		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項（個人情報）に該当する情報が含まれるため		
議題		「CS予算執行状況と来年度の取組みについて」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第第	1 開 会 2 授業参観 3 前回の議事の確認 4 協議 （1）第2回学校評価アンケートの結果について （2）CSコーディネーターとしての今年度の取組み及び今後の課題について （3）今後の家庭教育学級について （4）熟議 「CS予算執行状況と来年度の取組みについて」 5 その他 ・来年度、協議会役員について 6 閉 会			

<審議内容>

1 開会

酒井委員：令和7年度第3回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。会議を進行するにあたり書記を東小教務主任栗本委員にお願いします。→承認

2 授業参観（15分間） 谷田部東中7・8年生 6校時の授業参観

3 前回の議事の確認

樋口会長より

- ・前回の議事について、会議録をもとに振り返る。
- ・第1回学校評価アンケートとその後の取組について
- ・今年度の洞峰学園コミュニティ・スクールについて

4 協議

(1) 第2回学校評価アンケートの結果について

○小野川小より

- ・前回と比べて児童の評価は14項目上がった。
- ・保護者・地域の協力のもと評価を上げることができた。
- ・登下校の様子について、外部からの視察も来ている。
- ・学校支援ボランティアは徐々に増えている。その項目に関するアンケート結果も昨年度や第1回よりも上がっている。
- ・今後も地域と協力して学校の教育活動をしていきたい。

○二の宮小より

- ・ルールメイキングを中心に、協働的な教育活動を行ってきた。
- ・全体の満足度87%、授業の理解度90%以上であった。
- ・ICTの活用や行事、クラブ活動の満足度が高い。
- ・活動の多様性を地域の方に支えてもらっている。
- ・話し合い活動に力を入れてきて、児童・保護者の評価も高かった。
- ・児童の90%以上が安心して過ごしている。
- ・ICT支援や学習の定着が課題である。今後も児童が安心できる学校運営をしていきたい。

○東小より

- ・「人の役に立っている」に対する児童・保護者の評価が低かった。
- ・家庭学習の定着に課題がある。
- ・思いやりの心に対する評価が高かった。
- ・交通ルールやマナーについての評価が高かった。地域の見守りのおかげであった。
- ・出前授業や学習支援ボランティア（延べ530名）の実施
- ・毎月、コンプライアンス研修を行っている。

○谷田部東中より

- ・安全な学校、ルール順守についての評価が高かった。
- ・教育目標や学校のスローガンへの意識が低い。もっと意識させたい。
- ・家庭と学校との信頼関係に対する評価が高かった。
- ・自己有用感が低下している学年もある。
- ・キャリア教育は学年が上がるにつれて、満足度が高くなっている。
- ・最高学年への意識付け、教師による仕掛けや手立ての工夫をしていきたい。

○質疑応答

- ・A Iの活用について

A Iは質問者の機嫌を損ねるような返答はしない。質問の中に適切な指示を出さないと危険な面もある。そのようなA Iの特徴も共有していく必要がある。

- ・「人の役に立っている」と感じている児童・生徒の数が、学園を通して少ない値となっている。自己有用感を高めるための手立ては、どのようなものがありますか。
- ・(谷田部東中) かがやき隊というボランティア活動がある。来年度も重点として取り組んでいきたい。
- ・自己肯定感について、谷田部東中は肯定的回答が8割を超えている。生徒の活躍の場をいろいろと設定していることが効果的であった。
- ・先生方がオーバーに褒める場面があると、さらに良くなるのではないだろうか。
- ・効果的な取組だけでなく、児童・生徒がその取組に対する評価を実感できる場面が必要ではないだろうか。
- ・「悩みや相談に適切に対応している」の項目が下がっている学校もある。何かあったのだろうか。
- ・(谷田部東中) 悩みの多い年頃になり、全ての悩みが解消されていないことが、評価が下がった原因と考えられる。

(2) CSコーディネーターとしての今年度の取組み及び今後の課題について

- ・CSコーディネーターとしての活動は不十分であったかもしれないが、保護者として学校に協力をすることができた。
- ・CSコーディネーターに求められることは何だろうと考えながらの日々でした。挨拶を交わすこと、地域としてできることを実践できた。
- ・CSコーディネーターは何ができるのかという戸惑いを含めて、引き継いでいきたい。

(3) 今後の家庭教育学級について

- ・12月18日、二の宮交流センターで田村先生の講演をしていただいた。参加者は19名で、コミュニケーションの大切さについて、ためになる話であった。子供との距離感や関わり方について考えさせられる話であった。
- ・来年度以降も、よければ今年の形で実施できればと思っている。

(4) 熟議 「CS予算執行状況と来年度の取組みについて」

<今年度 予算執行を利用した活動について>

小野川小・・・奉仕作業等

二の宮小・・・チラシ配布（防災のブース、家庭教育学級）、CS役員用スカーフ、給食・清掃・見守りボラ、にのこみ部屋整備、にのフェス講師

東小・・・・・・奉仕作業、東小まつり、学校公開事業、
谷田部東中・・・奉仕作業、愛校作業、各種ボランティア

<活動実施にあたっての購入物等の詳細>

小野川小・・・軍手、殺虫スプレー、模造紙、ペン、お茶

二の宮小・・・スカーフ、ロッカー、マスク、帽子、エプロン、飲み物、
チラシ

東小・・・・・・軍手、殺虫スプレー、講師等謝礼、飲み物

谷田部東中・・・パッカー車（2台分）、混合油、ボランティア用飲料、
刈払い機の刃、清掃用具

<来年度の活動予定とやってみたい活動>

小野川小・・・防災フェス、チラシ配布、2年生町探検コーディネーター

二の宮小・・・各種ボランティア募集チラシ

東小・・・・・・防災倉庫整備、AED講習、ゾーン30への対応、引渡し訓練ボラ

谷田部東中・・・花壇ボランティア、保護者の輪づくり、授業補佐、見守りボランティア

<CSコーディネーターにお願いしたいこと／家庭教育学級で実施してほしいこと>

小野川小・・・家庭教育への温度（熱意）の低さへの対応

二の宮小・・・にのフェス参加、更なるボランティア協力依頼

東小・・・・・・

谷田部東中・・・地域へのつながりを広げる役割、キャリア教育（職業人からの話を聞く会）、職場体験、リーダー研修アドバイザー、谷東DAY運営、中学校に訪問することでの思い出話、地域を交えた思い出づくり

5 その他

- ・来年度、協議会役員について

6 閉会

令和7年度第3回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和8年2月19日（木）

14:30～16:00

場所：谷田部東中学校 LL教室

式次第

1 開 会

2 授業参観

3 前回の議事の確認

4 協 議

(1) 第2回学校評価アンケートの結果について

(2) CSコーディネーターとしての今年度の取組み及び今後の課題について

(3) 今後の家庭教育学級について

(4) 熟議 「CS予算執行状況と来年度の取組みについて」

5 その他

・来年度、協議会役員について

6 閉 会

<審議内容>

1 開 会

東小 坂入教頭：令和7年度第2回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。会議を進行するに当たり書記を東小教務主任河野委員にお願いします。→承認

2 授業参観（15分間） 東小3・4年生 6校時（学級活動）の授業参観

3 前回の議事の確認

樋口会長より

- ・前回の議事について、会議録を基に振り返る。

4 協 議

(1) 第1回学校評価アンケートの結果について

○小野川小より

- ・学園共通の課題

お子さんは将来やりたいことやなりたいものがある。

→児童は肯定的評価が高いが、保護者は低い。

- ・私は、学級で友達の役に立っていると思う。

→低学年は高い。

- ・学校はいじめに対して～

→児童は肯定的評価が高いが、保護者は低い。

- ・小中一貫教育が推進されている。

→低い。

○二の宮小より

- ・私は、学級で友達の役に立っていると思う。

→低いが、昨年度よりは高くなっている。

- ・ルールメイキングを通して、協働的な学びを推進したい。

○東小より

- ・自己有用感

→まだ低い。学校行事等で一人一人の活躍の場を設定するとともに、学級で認め、称賛しあえる雰囲気を作りたい。

- ・14 登下校時の見守りボランティアの皆さんの協力に感謝している。

- ・16 行事を通して、交流をお願いします。

- ・17 引渡訓練や避難訓練では、保護者や地域の方にも協力をいただいている。

- ・19 コンプライアンス研修の充実 服務規律の確保に努める。

○谷田部東中より

- ・進路指導

- ・9 キャリア関係

- ・4 県の方針を踏まえて→まだまだ周知が足りない。

- ・13 若干低い→エアコンの不具合が影響している可能性がある。

- ・9、18 基本的な生活習慣、19→親と子のギャップが見られる。

- ・20 いじめは絶対→いじめ防止対策を推進していきたい。

○質疑応答

- ・どんな夢に向かって努力をしているのかを追跡調査していきたい。
→保護者はあまり知らないことが多い。職業の内容によっては、保護者に言えない子供もいるのでは。
- ・キャリア教育について
→キャリアパスポートの活用方法、行事の後の振り返り活動を含めて、9年間を見通した取り組みをしていく。
将来のことについて親子で話すきっかけづくりをしてほしい。

(2) 熟議 テーマ「本年度の各学校の取組の見通し等について」

○各学校ごとに分かれ、熟議の時間を設けた。

- ・年度後期に向けて、具体的な計画を立てる。
- ・地域と学校の連携事業予算の活用状況について確認する。
- ・第1回で各校の課題となったCSのPRのしかたや人材確保のしかたについても話し合いを深める。

(3) 各学校の取組について（進捗状況や今後の予定等）

○小野川小より

- ・予算→有効に使い切れていない。
- ・町探検などを通して、避難場所がどこにあるかなど地域のことを知る活動ができればよい。
- ・人材バンクの作成を進めたい。

○二の宮小より

- ・毎朝の登校時あいさつボランティア
- ・校門から教室までの声かけ
- ・給食配膳、清掃ボランティア
- ・夏休みのラジオ体操ボランティア
- ・旗当番（立哨）→なり手が不足
- ・二の宮小まつり→防災体験（非常食を食べる）
- ・筑波大生との交流
- ・地域との連携がまだまだ薄いので、今後の強化が課題である。
- ・予算の消化が課題である。

○東小より

- ・予算の消化状況の説明
- ・学校公開日（12/12）に合わせて、地域の人もお呼びしたい。
- ・その際、情報モラル講演会を学年ブロック毎に開催し、ガマの口上公演も開催する。（CS協議会委員が講師をする）
- ・回覧板を活用し、学区内の地域のみなさんに周知していく。
- ・地域を巻き込んだ防災訓練の実施や、実際に災害が起きた時に避難所になる学校がどんな役割をしていくのかを知りたい。
- ・つくばスタイル科等授業で防災を扱う際、子供たちと一緒に防災倉庫を見てみたい。

○谷田部東中より

- ・花壇の管理を地域の方にやってもらいたい。
→地域の花壇サークルへの声かけ
- ・図書管理
- ・日本語支援
- ・どうやって地域の方を募集していくかが課題である。
→回覧板
- ・予算はあまり使っていないが、奉仕作業ではパッカー車を使用した。

○質疑応答

- ・折込チラシの配布方法について
→二の宮小では、市内全戸に配布される「広報つくば」を活用している。

5 その他

- ・家庭教育学級のお知らせ（田村先生より）
12月18日（木）10:00～ 二の宮交流センターにて
学園内には作成したチラシにて広報
- ・協議会の今後の予定について
第3回は、令和8年2月19日（木）14:30～ 谷田部東中にて開催予定

6 閉会